

# 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	107	108	109	110	111
事業名	家庭教育学級の充実	家庭教育セミナーの開催	家庭教育手帳の配布	ブックスタート「すべての赤ちゃんに本のよこびを」事業	親子ですすめる食育教室(食育の推進)
事業概要	家庭における子どもとの接し方や、子どもへの教育上の留意点など、家庭教育上の様々な問題を解決する知識や能力を、親などが相互学習の中から習得できるような学習機会の場を提供する。	多様化する家族教育上の様々な課題に対応するため、これから親になる人、働く親、親子で学ぶセミナーなど、対象者に応じたテーマや内容によるセミナーや講演会などを実施する。	親が家庭を見つめ直し、自信を持って子育てに取り組んでいく契機となるよう、家庭教育手帳を中学生以下の子どもを持つ保護者に配布する。	絵本を通して親子が楽しい時間を分かち合うことで「赤ちゃんの心健やかな成長」と「親子の絆を深めること」を支援するきっかけづくりとして、出生児の保護者を対象に「絵本パック」(絵本2冊・0歳から2歳児までの絵本リスト・ブックスタートイラスト冊子など)を配布する。	子どもの食生活の乱れによる健康問題の改善を図るため、「北九州市食育のあり方検討会」において、食を通じた健康づくりについて、子どもを中心に実状を見直した結果を踏まえ、地域の子育て家庭を対象とした調理実習や相談、講話など食育に関する教室を開催する。
指標	-	-	-	配布率	-
初期年度: 初期値 (計画策定時)	-	-	-	16年度: 54%	-
目標年度: 目標値	-	-	-	21年度: 70%	-
実施年度: 実績値	-	-	-	19年度: 62.0%	-
19年度 実施状況等	209校で実施 ・市立幼稚園: 8園 ・市立小学校: 130校 ・市立中学校: 63校 ・特別支援学校: 8校	家庭教育セミナー「聞いて聞いて話を聞いてクラブ」を実施: 17箇所	母子手帳配布時と新1年生・5年生の保護者に配布。	市内図書館(16館)、市内保育園(所)(157ヶ所)にて、ブックスタート事業を継続実施。 配布率: 62.0% セミナー開催 参加者: 30人	乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着、および「食」を通じた豊かな人間関係・家族関係づくりによる心身の健全な育成を図ることを目的として、親子ですすめる食育教室を実施。 対象者: 就学前の子どもの保護者等 場所: 幼稚園、保育所、市民センター等 参加人数: 1回あたり30名程度 従事者: 栄養士、食生活改善推進員 実施内容: 栄養士による講話及び調理実演または実習。食生活改善推進員によるエプロンシアターの実施も可。
備考 (特記事項)		19年度事業終了			・「北九州市食育のあり方検討会」は17年度で終了 ・事業名を予算上の事業名に変更(旧・食育の推進)
担当(課)	教育・生涯学習課	教育・生涯学習課	教育・生涯学習課	教育・中央図書館	保健福祉・健康推進課

## 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

### 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	344
事業名	早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
事業概要	子どもの望ましい基本的な生活習慣づくりを、わかりやすい「早寝早起き朝ごはん運動」を地域ぐるみで取り組むことにより、家庭や地域の教育力向上を目指す。
指標	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-
目標年度： 目標値	-
実施年度： 実績値	-
19年度 実施状況等	実践モデルの実施 生活リズム向上のための調査研究 全国フォーラム(平成19年1月13日)開催
備考 (特記事項)	18年度新規事業
担当(課)	教育・生涯学習課

# 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	112	113	114	115
事業名	児童館の整備・改修	児童館の開館時間の延長	児童健全育成ボランティア推進事業	児童館の事業の充実
事業概要	老朽化の著しい木造児童館の改築を進め、また、既設児童館において必要な補修を行い、児童館機能の充実及び保全を図る。	児童館の開館時間を18時30分までの延長を促進し、児童に健全な遊び場の提供を推進する。なお、時間の延長にあたっては、帰宅時の安全面などを十分考慮しながら実施する。	児童館における児童健全育成活動や子育て支援活動をより充実し、地域全体に広げていくために、児童館を拠点として活動しているボランティア組織である「みらい子育てネット(母親クラブ)」の活動を支援し、その充実を図る。	就学前児童を持つ親に対しての子育て支援の一貫として、小学生児童の活用が少ない平日の午前中などに、就学前児童の親子向けの講座や教室などの充実を図る。
指標	改築箇所数	延長館数	-	-
初期年度：初期値(計画策定時)	16年度：10館	16年度：10館	-	-
目標年度：目標値	21年度：13館	21年度：32館	-	-
実施年度：実績値	19年度：10館 (19年度は増減なし)	19年度：25館	-	-
19年度実施状況等	木造児童館である牧山児童館について、平成21年度の供用開始を目指し着工した。 残りの木造児童館である長浜・折尾児童館について、より有効な建築場所の選定及び設計を行った。	計画通り設置することができ、利用者の利便性を向上させることができた。	16クラブに支援公園の安全点検や児童館での絵本の読み聞かせ、紙芝居、児童館まつりなどを実施。 (1クラブ減) 会員の高齢化、子育て家庭の共働きの増加などが影響し、会員数・クラブ数は減少している。	児童館で実施している子育て支援事業にかかる備品の整備や、実施しているプログラムの多様化を図った。
備考(特記事項)		児童の帰宅時の安全面を考慮しながら実施。	会員数の減少により、減少となった。新たな取り組みが必要である。 ボランティア組織のあり方を見直し、広報活動や自立した活動が行えるよう検討する。	同様の事業を行う市民センターなどとの連携を図る。
担当(課)	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子育て支援課

# 子育て支援【(5)子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	116	117	118	119	350
事業名	一時保育事業	家庭保育員事業	保育所における食育推進事業	保育所における地域活動事業	家庭支援推進保育事業
事業概要	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育を行う。今後は実施箇所数を増やすとともに保育時間の延長を検討する。また、新規に保育所で保育が可能な障害児の受入れを実施する。なお、事業実施に当たっては適正な利用となるよう利用基準等の見直しについて検討する。	保育士等の資格を有する者が自宅を開放して家庭的な雰囲気の中で保育を行う。今後は、実施箇所数を増やすとともに、新規に受入れ対象年齢の拡大等を検討する。	本市の「北九州市食育のあり方検討会」の検討内容を踏まえながら、保育所においても入所児の保護者に加え、地域の子育て家庭を対象とした調理実習や相談、講演会等食育に関する事業を拡充する。	保育所における世代間交流事業や異年齢児交流事業など、幅広い活動を通して児童の社会性を醸成する。また、保育所が持つ専門的知識、ノウハウを活用し、相談活動や育児講座の開催、育児情報の提供を行うなど、地域の子育て支援の核として子育て家庭への支援を拡充する。	日常生活における基本的な習慣等について家庭環境に対する配慮など保育を行う上で特に必要がある保育所を指定し、保育士の加配を行い入所児童の処遇の向上を図る。
指標	実施箇所数	実施箇所数	実施施設数(率)	-	-
初期年度: 初期値 (計画策定時)	16年度: 36か所	16年度: 13か所	16年度: 25施設(16%)	-	-
目標年度: 目標値	21年度: 60か所	21年度: 20か所	21年度: 全施設(100%)	-	-
実施年度: 実績値	19年度: 51か所	19年度: 13か所	19年度: 74施設(47%)	-	-
19年度 実施状況等	実施箇所: 51か所 延べ利用人数: 24,996人 平成18年1月から新たに障害児の受入を実施。	実施箇所: 13か所 拡充に向けて検討中	保育所における食に関する地域活動の実態調査。	保育所における世代間交流事業や異年齢児交流事業など、幅広い活動を通して児童の社会性の醸成に向けた取り組みを行った。また、保育所が持つ専門的知識、ノウハウを活用し、相談活動や育児講座の開催、育児情報の提供を行うなど、地域の子育て支援の核として子育て家庭への支援を全保育所で実施した。	直営保育所9所にて加配保育士(各2名)を配置。 民間保育所8所にて加配保育士(各2名)の人員費の一部を補助。
備考 (特記事項)					19年度追加事業
担当(課)	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課

# 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	120	121	122	123	124
事業名	子育て講演会等の開催	未就園児を対象とした子育てサークル活動の充実	子育て支援保育補助員の活用(私立幼稚園)	預かり保育の推進	満3歳児保育の内容の充実(私立幼稚園)
事業概要	幼稚園における地域での子育て支援機能の充実を図るため、幼稚園において、地域の特性を生かした子育て講演会や子育て相談会の開催、及び食育等の子育てに役立つ講座の開催などを実施する。	幼稚園・保育所・市民センター等が連携して、未就園児を対象に親子で一緒に遊びながら、子育てに関する悩みや体験を話したり、気軽に交流する機会の増大を図るなど子育てサークル活動の充実を図る。	私立幼稚園において、子育て支援保育補助員を活用し、未就園児の親子登園や育児サークルの充実などの子育て支援機能を強化する。	保護者のニーズや園児の健やかな成長に配慮しながら、保護者が希望する園児について、保育時間を延長する「預かり保育」を推進するため、預かり保育のための保育補助員に対する人件費の補助を行う。	満3歳児保育を実施するに当たっては、保育内容の充実を図るとともに、受入体制の整備に努める。
指標	実施回数	-	実施幼稚園数	預かり保育実施率	-
初期年度：初期値(計画策定時)	16年度：50回	-	-	-	-
目標年度：目標値	21年度：80回	-	21年度：全私立幼稚園	21年度：100%	-
実施年度：実績値	19年度：82回 公立幼稚園 60回 私立幼稚園・保育所 22箇所	-	19年度：83園	19年度：97%	-
19年度実施状況等	<p>【公立幼稚園】 全8園で保護者研修会(60回) 市民センター等と連携して家庭教育学級の開催(41回) 園独自で「おしゃべり広場」や「子育て相談会」等開催</p> <p>【私立幼稚園】 私立幼稚園・保育所家庭教育学級：22箇所を実施</p>	<p>【保育所】 積極的に取り組んでいる地域では、未就園児の親子に絵本を貸し出した。子育ての悩みを相談する場を提供したり、連携して行事を開催したりと、子育てサークル活動の充実の一助となっている。</p> <p>【公立幼稚園】 継続実施。子育てサークルへの支援は3園が実施。</p> <p>【私立幼稚園】 育児サークルへの支援は独自に23園が実施。</p>	<p>対象業務に従事する子育て支援保育補助員を私立幼稚園が雇用する場合には、雇用日数に応じて人件費の補助を行った。83園が活用。</p>	<p>私立幼稚園93園が、本市の子育て支援保育補助員活用事業や、県の補助金の活用等により預かり保育を実施。</p>	<p>19年度：89園で満3歳児の入園実施。 満3歳児に対しても、就園奨励費補助金を支給することで、保護者への支援を行っている。</p>
備考(特記事項)				19年度拡充(ハートフル子どもプラン)により、指標及び目標値を変更。	
担当(課)	教育・指導第一課、生涯学習課	子ども家庭・保育課、教育・企画課、指導第一課	教育・企画課	教育・企画課	教育・企画課

# 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	125	126	348	351	352
事業名	研修内容の充実(保育所)	児童福祉施設等第三者評価事業	認可外保育施設衛生・安全対策事業(職員分)	認可外保育施設研修代替職員費補助	保育指導専門員の配置
事業概要	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い一層の充実を図る。具体的には相談技術、第三者評価、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実する。また、市内外で行われる研修に対して積極的に参加する。	保育所や児童養護施設等については、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため、第三者評価事業の一層の普及を図る。また、市の主体性のもとに、民間事業者の参入を検討する。認可外保育施設の事業参加に向けた働きかけも併せて検討する。	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)に従事する職員の健康診断に要する経費の一部を補助することにより、認可外保育施設に従事する職員の感染症などへの罹患を未然に防止し、施設を利用する児童の衛生及び安全を確保する。	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)が市主催の研修会に参加するために、代替職員を雇用した場合の経費の一部を、予算の範囲内で補助することにより、認可外保育施設の職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を図る。	認可外保育施設の指導監督を強化するため、認可保育所の所長経験者2名を保育課に配置し、きめ細やかな指導を行う。
指標	-	実施箇所数	-	-	-
初期年度: 初期値 (計画策定時)	-	16年度:22施設	-	-	-
目標年度: 目標値	-	21年度:30施設程度	-	-	-
実施年度: 実績値	-	19年度:31施設実施	-	-	-
19年度 実施状況等	階層別研修:3研修実施  専門研修(課題別研修):12研修実施  職種・施設別研修:6研修実施  その他 日本保育協会等主催の研修に参加	実施箇所 ・保育所:17施設 ・保育所再評価:12施設 ・児童養護施設:1施設 ・乳児院:1施設  第三者評価事業フォローアップ研修会 ・5月18日,5月23日開催 ・参加者:203人(125施設)	実施箇所 ・認可外保育施設:9施設	実施箇所 ・認可外保育施設:11施設	実施箇所 ・認可外保育施設:49施設
備考 (特記事項)	拡充(ハートフル子どもプラン)により、事業概要に一部追加。		18年度新規事業	19年度新規事業	19年度新規事業
担当(課)	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課 子育て支援課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課

# 子育て支援【(5)子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	127	128	129	130	131
事業名	母子公費負担医療費助成および医療の給付	乳幼児医療費支給制度の充実	児童手当	北九州市奨学資金貸付事業	私立幼稚園助成の実施
事業概要	妊娠中の疾病や未熟児・心身障害児の重症化を抑制するとともに、保護者の医療費負担の軽減などを図るため、医療の給付や医療費の公費負担を行う。また、保護者の心身の負担軽減や養育生活の充実を図るため、家庭訪問等による支援を実施する。	子育てに関する経済的な負担が大きいという現状から、子どもにかかる医療費の負担軽減を図るため、保険診療の患者負担分を助成している乳幼児医療費支給制度について、通院医療費の助成対象年齢の拡大を図る。さらに、所得制限の見直し及び小学生期の医療費支給制度については、福岡県公費医療費支給制度改正の内容をふまえて検討する。	次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図り、家庭における生活の安定に寄与するために、児童を養育している者に手当を支給する。	経済的理由により高校、大学等での修学が困難な者に必要な学資金の貸付を行う北九州市奨学資金貸付制度について、他の奨学金制度との整合性を図りながら、他制度の補完としての制度運営を図る。	私立幼稚園における幼児教育の振興と保護者の経済的な負担の軽減を図るため、私立幼稚園に対して幼児教育振興事業、教職員研修事業、心身障害児教育事業などの助成を行う。
指標	-	助成対象範囲	-	-	-
初期年度：初期値(計画策定時)	-	17年度：5歳未満	-	-	-
目標年度：目標値	-	計画期間内：小学校就学前	-	-	-
実施年度：実績値	-	19年度：小学校就学前	-	-	-
19年度実施状況等	小児慢性 126,762千円 611人 育成医療 11,345千円 186人 養育医療 56,771千円 215人	平成19年8月に、通院医療費の助成対象年齢を小学校就学前までに拡大。	児童手当法改正 3歳未満の児童に対する児童手当の額がそれまで第1子及び第2子について倍増し、一律1万円となった。  受給者数 58,207人 (平成20年2月末)	継続実施 (国や県の奨学金を受けられない者等へ貸付の機会を提供している)	北九州市私立幼稚園振興助成補助：96園 同上(心身障害児教育費)：15園
備考(特記事項)	身体障害者育成医療については、障害者自立支援法に統合	市長マニフェストの実現を目指し、引続き実施内容の見直しを検討			
担当(課)	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子ども家庭政策課	子ども家庭・子育て支援課	教育・学事課	教育・企画課



# 子育て支援 【(5) 子育て家庭への支援】

## 基本施策/家庭・家族の教育力向上

事業番号	132	133	353
事業名	私立幼稚園就園奨励費補助の実施	保育所措置費用負担金の軽減	認可外保育施設衛生・安全対策事業(児童分)
事業概要	私立幼稚園教育の一層の充実を図るとともに、私立幼稚園に幼児を就園させている世帯の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園就園奨励費補助を実施する。	保育所措置費用負担金(保育料)は、国の示す徴収金基準額に基づいて定めることを基本としている。本市では、保護者の負担を軽減するため、市独自の軽減措置に努める。	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)を利用する児童の健康診断に要する経費の一部を補助することにより、乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資する。
指標	-	-	-
初期年度: 初期値 (計画策定時)	-	-	-
目標年度: 目標値	-	-	-
実施年度: 実績値	-	-	-
19年度 実施状況等	平成19年度支給額: 1,050,843千円 平成19年度対象者数: 14,021人	前年度と同じ保育料表を設定し、負担軽減の維持に努める。	実施箇所 ・認可外保育施設:13施設
備考 (特記事項)			19年度新規事業
担当(課)	教育・企画課	子ども家庭・保育課	子ども家庭・保育課